

平成**30**年度

# 全国知的障害関係 施設長等会議

## 開催要綱

テーマ「これからの障がい福祉と事業者が目指すもの」

日時

平成30年7月2日(月)・3日(火)

会場

東京国際フォーラム

主催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

平成 30 年度

# 全国知的障害関係施設長等会議 開催のご案内

## テーマ これからの障がい福祉と事業者が目指すもの

障害者総合支援法の改正を受けた平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定においては、障がいのある方々の望む地域生活を営むことができるよう、「生活」と「就労」に対する支援の一層の充実、「医療的ケア」の必要な障がいのある児童への支援の充実など、障害福祉サービスの充実を図るとともに、相談支援の強化、緊急時の受け入れなど、地域の支援体制づくりに向けた総合的な見直しが行われました。あわせて、次期報酬改定にむけた検討事項として 13 項目の課題が示されており、その中では、これまでの手厚い支援体制を整えている事業所への評価に加えて、客観的評価の難しい「支援の質」の評価のあり方についての検討・検証を行うとしています。

また、社会福祉をめぐるのは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受けて」という関係を越えて、住民同士が支え合いながら地域をとともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた施策が進められています。

今年度の本会議では、これらの動向を理解し、今後事業者が目指すべき方向について議論していきたいと思えます。

さらに 2 日目は「障がい児の支援のあり方」「地域における社会福祉法人の役割」「日中・生活支援の新たなサービスのあり方」「障がいのある人の就労支援のあり方」に関する 4 つのテーマの分科会を設けています。

関係各位のご参加を心よりお待ちしております。

**主 催** 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

**後 援** (予定) 厚生労働省、文部科学省  
(一般社団) 全国肢体不自由児者父母の会連合会、(一般社団) 全国児童発達支援協議会、(社福) 全国社会福祉協議会、全国社会就労センター協議会、(社福) 全国重症心身障害児(者)を守る会、(公益社団) 全国脊髄損傷者連合会、(特非) 全国地域生活支援ネットワーク、(一般社団) 全国知的障害者施設家族会連合会、全国手をつなぐ育成会連合会、障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会、(一般社団) 日本自閉症協会、(公益社団) 日本重症心身障害福祉協会、(特非) 日本障害者協議会、(公益社団) 日本精神科病院協会、(特非) 日本相談支援専門員協会、(一般社団) 日本発達障害ネットワーク、(公益社団) 日本発達障害連盟  
【略称】社福:社会福祉法人、公益社団:公益社団法人、一般社団:一般社団法人、特非:特定非営利活動法人

**会 期** 平成 30 年 7 月 2 日 (月)・3 日 (火)

**会 場** 東京国際フォーラム ホール A 他 (東京都千代田区丸の内 3-5-1)

**参加対象** ①障害福祉施設・事業所の長(施設長及び管理者)  
②障害福祉施設・事業所の中堅幹部職員  
③社会福祉法人等役員  
④地方自治体の担当者及び関係者  
⑤その他

**定 員** 2,500 名

**参加費** ①会員・準会員 15,000 円  
②一般 20,000 円

(※申込みは切日後の申込みは、会員・準会員であっても上記②の扱いとさせていただきます。)



11:15	12:00	12:55	13:55	14:55	15:10	16:50
受付	開会式 ・ 授賞式	基調講演	行政説明	休憩	シンポジウム	



9:00	9:30			15:00
受付	午前の部	休憩 <small>※時間は各分科 会スケジュール による</small>	午後の部	



### 第1日目【全体会】平成30年7月2日（月）

11:15～12:00	受付
12:00～12:55	開会式・授賞式
12:55～13:55	基調講演「今、障がい福祉に何が求められているのかー社会福祉法人制度改革や平成30年度報酬改定を踏まえてー」（仮） 講師：西田 和弘 （岡山大学大学院法務研究科 教授／危機管理委員会 専門委員）
13:55～14:55	行政説明 内山 博之 （厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長）
14:55～15:10	休憩
15:10～16:50	シンポジウム テーマ「今後の障害福祉サービスを考える」 シンポジスト：久木元 司（社会福祉法人経営の在り方検討委員会 委員長／鹿児島県・社会福祉法人常盤会 理事長） 河原 雄一（政策委員会 委員長／神奈川県・湘南ゆうき村 施設長） 小澤 温（筑波大学 人間系 教授） コーディネーター：白石 孝之（政策委員会 副委員長／埼玉県・りんごの家 総合施設長）



### 第2日目【分科会】平成30年7月3日（火） 9:00～15:00

第1分科会	障がいのある子どもの最善の利益を考える ー課題解決のための支援のあり方・システム・人材育成を考えるー
第2分科会	地域における社会福祉法人の役割
第3分科会	これからの福祉サービスのあり方 ー居住支援・日中支援が目指すものー
第4分科会	地域共生社会の実現を担う就労支援事業所の役割を考える

#### お申込み・お問合せ

●開催事務局（会議の内容に関するお問い合わせ）

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会  
全国知的障害関係施設長等会議  
（担当：柘植（つげ）・水内）

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6階  
TEL：03-3438-0984

●参加申込み・宿泊に関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター  
平成30年度全国知的障害関係施設長等会議担当

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル ロビー階  
TEL：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

# 第1分科会

テーマ

## 障がいのある子どもの最善の利益を考える

－課題解決のための支援のあり方・システム・人材育成を考える－

「新しい社会的養育ビジョン」において家庭養育の重要性が示され推進されるなか、今後の代替養育、障がい児入所施設のあり方を探ります。また、平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、医療的ケアを必要とする子どもへの手厚い保障がなされましたが、医療的支援を含む今後の居宅訪問支援における専門的支援についても理解を深めたいと思います。さらに、このたび食事提供体制加算の経過措置が延長されましたが、今一度障がいのある子どもの食事の大切さについて先進的な実践から学ぶとともに、障がい児支援を担う質の高い人材をどのように育成していくかについても考えるなど、本分科会では、障がいのある子どもの養育を取り巻く今日的課題について多角的な視点で考えます。

# 第2分科会

テーマ

## 地域における社会福祉法人の役割

社会福祉法人改革から一年が経過しました。そのうちの「財務規律の強化」による内部留保の明確化では、当初、多額の余裕財産を留保していると想定されていた社会福祉法人の財務状況は、平成29年度の社会福祉充実計画の策定状況における集計結果によって、全社会福祉法人のうち充実財産のある法人は12%であり、残りの88%は充実財産なしという結果が示されました。この結果により、新たに社会福祉事業の持続性に大きな課題を残すこととなりました。また、「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた体制整備が進められているなかで、少子・高齢化がもたらす地域社会の変容と人口減少に伴う社会変化に即応した社会福祉のあり方も問われることとなります。本分科会では改めて社会福祉法人の役割を検証し、社会福祉事業経営のあり方と地域における社会福祉法人の役割を考えます。

# 第3分科会

テーマ

## これからの福祉サービスのあり方

－居住支援・日中支援が目指すもの－

障がいのある人の重度化・高齢化に伴い、福祉サービスへのニーズはますます多様化しています。こうした課題に向き合い、障がいのある本人や家族が安心して暮らしていくために住まいの場における生活支援や、活動の場である日中活動支援のさらなる機能強化が求められています。

本分科会では、現在、喫緊の課題となっている医療的ケアの必要な人、行動障害のある人、手厚い支援の必要な人など様々な「生きづらさ」を抱えた人たちへのサービスのあり方について検討するとともに、これからの居住支援・日中支援の方向性について議論を深めます。

# 第4分科会

テーマ

## 地域共生社会の実現を担う 就労支援事業所の役割を考える

現在、国では「一億総活躍社会」や「共生社会の実現」が推進され、障害者施策においても障がい者雇用の促進や農福連携の取組みなど、障がいのある人も日本経済を支える重要な担い手として活躍できる全員参加型の包摂社会を目指しています。

“働く”ことを通じて、障がいのある人が地域社会と繋がる支援を行ってきた就労系事業所には、地域福祉の重要な役割を担うとともに、今後益々の期待が寄せられています。

また、平成30年度の報酬改定では、就労系事業所は「実績や成果」を重視される等大きな変化がありました。このような障がいのある人の就労支援を取り巻く環境が変化する中で、本分科会では、今後の就労支援をどのように維持し発展させていくべきか、先進事例をもとに検討します。

## プログラム（予定）

### 第1分科会

9:00～9:30	受付
9:30～10:30	行政説明 齋藤 晴美 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 室長補佐
10:30～12:00	基調講演 今後の障害のある子どもの代替療育のあり方と 地域における包括的支援について 講師 柏女 霊峰 淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科 教授
12:00～13:00	休憩
13:00～15:00	シンポジウム 障害のある子どもの最善の利益を考える ー課題解決のための支援のあり方・ システム・人材育成を考えるー シンポジスト 林 時仲 北海道／社会福祉法人北海道療育園 園長 藤井 葉子 広島県／社会福祉法人広島市社会福祉事業団 広島市西部こども療育センター 栄養士 出水 巖生 静岡県／社会福祉法人小羊学園三方原スクエア 児童部 施設長 助言者 青木 健 国立武蔵野学院 院長 司会 北川 聡子 北海道／社会福祉法人妻の子会 むぎのこ児童発達支援センター センター長

### 第2分科会

9:00～9:30	受付
9:30～11:00	講演1 社会福祉法人の役割と方向性 講師 千葉 正展 独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンター参事/ 法政大学大学院人間社会研究科 講師
11:00～11:30	代表質疑
11:30～12:30	休憩
12:30～13:30	講演2 地域における社会福祉法人の役割 講師 中島 修 文京学院大学人間学部人間福祉学科 准教授
13:40～15:00	鼎談 地域における社会福祉法人の役割 登壇者 財前 民男 岡山県／社会福祉法人クムレ 理事長 中島 修 文京学院大学人間学部人間福祉学科 准教授 久木元 司 鹿児島県／社会福祉法人常盤会 理事長

### 第3分科会

9:00～9:30	受付
9:30～10:30	特別講演 発達障害に必要な理解と支援 ー当事者の目線で考えるー 講師 広野 ゆい 特定非営利活動法人DDAC 理事長 (発達障害をもつ大人の会)
10:30～11:30	講演 あったか地域の大家族 ー共生型デイサービスの25年ー 講師 惣万 佳代子 特定非営利活動法人このゆびとーまれ 代表
11:30～12:30	休憩
12:30～15:00	シンポジウム 大きな生きづらさを抱えている人達の 暮らしと日中活動 シンポジスト 森下 浩明 神奈川県／社会福祉法人みなと舎ゆう 施設長 村上 利男 大阪府／社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 菊池 禮子 北海道／社会福祉法人北海道社会福祉事業団 だて地域生活支援センター 所長 芦馬 謙二 福岡県／社会福祉法人豊徳会 理事長・統括施設長 司会 山崎 千恵美 北海道／社会福祉法人 NIKORI いどむ 施設長

### 第4分科会

9:00～9:30	受付
9:30～10:30	行政説明 石井 悠久 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐
10:30～11:30	講演 地域共生社会を支える福祉事業所の役割 講師 蓬萊 和裕 兵庫県／社会福祉法人ゆたか会 理事長
11:30～12:30	休憩
12:30～15:00	シンポジウム 地域共生社会の実現を担う 就労支援事業所の役割を考える シンポジスト 野町 雷音 香川県／社会福祉法人ナザレの村あじさい 施設長 鈴木 正和 北海道／社会福祉法人北海道光生会 爽やかネットワーク マネージャー 熊田 芳江 福島県／社会福祉法人こころん 常務理事・施設長 司会 志賀 正幸 長崎県／社会福祉法人つかさ会 理事長

※登壇者は、都合により変更となる場合があります。